

画図小学校だより

令和6年(2024年)

12月23日号

文責: 深川

心かがやけ月間のふりかえり ~これからも自分を見つめ直すことを大切に~

2学期は全校集会等で「相手を大切に思う行動」「礼儀」「マナー」の話題を取り上げてきました。そして自分の行動を振り返ること、自分を見つめ直すことの大切さを話してきました。明日の終業式でも、心かがやけ月間に限らず、常に自分を振り返り見つめ直すことの大切さをお話する予定です。

学校の授業では、自分の心を見つめる時間として「道徳」があります。本年度は、親子道徳の取組として、各学級の道徳の時間に考えたことを、家庭で話題にさせていただく機会を設定しました。ご家庭でも話題にさせていただけたことと思います。主体的に学ぶ力を育てていくためのベースには豊かな心が欠かせません。豊かな心の育成に今後も家庭・地域と連携しながら取り組んでいきます。

11月のある日、地域の方から画図っ子の心かがやく姿を教えてくださいました。重い荷物をもっているお年寄りに「だいじょうぶですか、荷物持ちましょうか」と親切な声掛けをしている画図小の子どもがいたそうです。これは、ほんの一例だと思えます。豊かな心が画図っ子に育っているなど感じたエピソードでした。

明日で2学期終了 冬休みも安全に有意義にお過ごしください

今年の冬休みはちょうど2週間のお休みとなります。夏休み同様、子どもたちにはまずは命を大切に、安全で有意義な休みにするよう、各学年に応じた指導をしています。昨今は交通事故や不審者等に気を付けることに加え、SNS等につまづくトラブルや被害が考えられます。お子さんの通信機器利用に関しては、ご家庭で約束事を決め、利用状況を把握していく等の工夫をおすすめします。

1月8日の3学期の始業式に、画図っ子の元気な笑顔に会えるのを楽しみにしております。

「画図ニerland」は子どもたちのアイデアと行動力がいっぱい

12月13日の午前、児童会主催のイベント「画図ニerland」が開催されました。3年生から6年生の各クラスが、自分たちの教室をアミューズメントスペースとして作り変え、他のクラスの児童をお客さんとして招き、楽しんでもらいます。1・2年生はまだお店は開きませんが、お客としてたくさんのお客を回ります。3～6年生は前半と後半に分かれて、自分のクラスのお店の運営と客として他の教室を訪問するどちらの立場も経験します。12月に入ってから段ボールを抱えて登校する児童が多く、どんなアミューズメントが提供されるのか私も楽しみにしていました。

画図ニerland当日、全てのお店を見せてもらいましたが、みんなに楽しんでほしいという工夫が詰まったお店ばかりでした。しかも手作りの道具や施設等は、図工だけでなく、あらゆる教科で学んだことが活用されていました。お客として教室を訪れる児童も、順番やマナーを守り、手作りのアミューズメントを楽しんでいました。教室の配置から、客の流れがよくないだろうと予測をしたクラスは、看板をもって隣の校舎までコマースに行くなどの工夫をしていました。この日の画図小学校は、「おもてなし」をする側、される側、どちらの笑顔も溢れているアミューズメントパークでした。画図っ子の「主体性」を実感することができたイベントとなりました。